

第5章 計画の進行管理

1 立地の適正化に関する評価指標

本計画の必要性・妥当性を客観的かつ定量的に提示するとともに、PDCA サイクルが適切に機能し、実効性のある計画とするため、定量的な目標値等、評価指標を定める必要があります。

評価指標については、課題解決のための施策・誘導方針（ストーリー）によりめざす目標とともに、目標達成により期待される効果について、次のように設定します。

表 5-1 立地の適正化に関する評価指標①

本市の良さを守り、将来に備える 【守り】 現状のコンパクトな市街地と利便性の高い暮らしを堅持する	
評価指標①	居住誘導区域内の人口密度
基準値	[2040年推計値（2018年社人研推計値に基づく数値）] 99.3人/ha
目標	[2040年] 101.9人/ha以上
目標の考え方	各施策の展開により、社人研推計の2040年人口より+2,000人程度を居住誘導区域に誘導することをめざし設定します。 社人研推計値に基づく居住誘導区域内の人口：約76,800人 居住誘導区域面積：773ha
期待される効果	一定の人口密度が確保されることで、生活利便施設の維持につながり、良好な居住環境の維持が図られます。

表 5-2 立地の適正化に関する評価指標②と③

本市の特徴を活かし、一層の暮らしの質的向上を図る 【攻め】 本市独自の施策とあわせ、暮らしの魅力を一層高める本市の良さを守り、将来に備える	
評価指標②	市の子育て環境・支援に対する満足度
基準値	[2013 年実績値] 満足度が高い・やや高いの割合 … 20.9% 満足度が低い・やや低い割合 … 37.6%
目標	[2040 年] 満足度が高い・やや高いの割合 … 20.9%以上 満足度が低い・やや低い割合 … 37.6%以下
目標の考え方	子育て環境・支援に係る各種施策を通じて、現状の実績値の向上を図ります。
期待される効果	子育て層の満足度を高め、子育て層の流出を減らすことが期待されます。
評価指標③	池田駅・石橋駅 1 日平均乗降客数の合計値（定期外）
基準値	[2015 年実績値] 53,544 人
目標	[2040 年] 56,800 人以上
目標の考え方	中心市街地の魅力の向上に資する都市機能の導入などにより、現状以上の利用者増を図ります。
期待される効果	来街者を増加、維持させることで、中心拠点におけるにぎわい創出が期待されます。

2 計画の進行管理と評価

立地適正化計画は、法第 84 条において概ね 5 年毎に施策の実施の状況についての調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、立地適正化計画及びこれに関連する都市計画を変更するものとされています。

また、現行の本市都市計画マスタープランは、目標年次である平成 34（2022）年度に定期見直しを行う予定となっています。

立地適正化計画は都市計画マスタープランとの連動が必要であることから、都市計画マスタープランの進捗管理の仕組みとも連動した形で進行管理と評価を行い、適切な時期での見直しを実施するものとします。

なお、誘導施設や誘導施策については、市の施策の熟度や民間事業者の動向にあわせ、追加・変更が必要と判断した場合は、適宜、計画の見直しを実施するものとします。

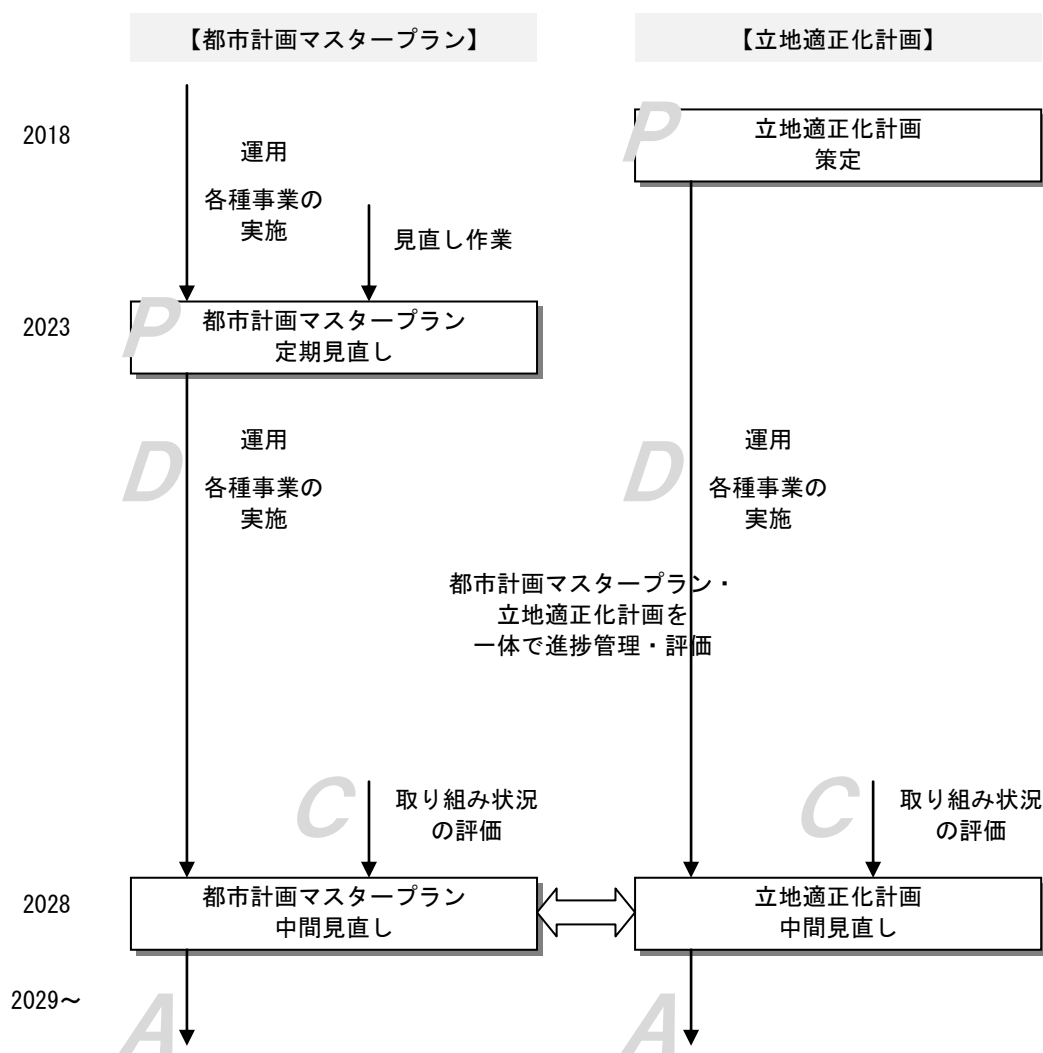


図 5-1 進行管理と評価

発行：池田市 都市建設部 まちづくり・交通課

〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号 TEL:072-752-1111(代表) FAX :072-752-6572